

二十四年六月一日運輸省特種採承認雜誌第1322號  
二十七年七月五日印刷（毎月一回發行）

# 哲學研究

第三十五卷 第十一冊

第四百九號

昭和二十七年七月十日發行

所有と習慣(完)……………山内得立

フランツ・ボアズ……………堀喜望

—その歴史の概念について—

カントに於ける「取り残された」空間の諸問題……………青木茂

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
  - (一) 毎月一回研究會を開く
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けなない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八〇〇圓、又は半年四〇〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

## 京都哲學會役員

委員

井	山	矢	三	松	野	西	長	田	武	高	關	島	下	重	上	白	有
島	内	田	村	尾	田	谷	尾	中	内	田	原	芳	程	澤	野	井	賀
	得	部		義	又	啓	雅	美	義	三	太	夫	勇	俊	照	二	鐵
勉	立	達	勉	海	夫	治	人	知	範	郎	郎	夫	吉	郎	夫	尙	太
		郎						太	範	郎	郎						郎

つてゐる。價値に反するものは無價値であり、捨て去らるべきであるが、意味をもたないものさえも無意味という意味をもつてゐる。所詮如何なる存在も意味なしには實存することができない。意味によつて存在は自らを措定し定立するとともに、我々にとつての實存となり得るのである。矛盾するものは論理的になり立たないが矛盾そのものも一つの論理的意味でなければならぬ。意味は存在をそのものたらしむるとともに、それをして他との關係に於てそこに存在せしむるのである。存在が我々によつて認識せられるということも、その一つの關係に外ならぬであらう、種々なる關聯に於て如何なる位置を占むるかを明かにしそしてそれを定立するものが即ち意味であつた。意味が存在の、於てある場所を形づくるのも此のところに於てであつたのである。

(完)

(筆者 文學博士・京都大學文學部「哲學」教授)

## 前 號 目 次

所有と習慣……………	山内 得立
ヘーゲルに於ける現實的なものと と理性的なもの……………	平下 欣一
唯識に於ける根據の問題……………	服部 正明

## 次 號 豫 告

フランツ・ボアズ(承前)……………	堀 喜望
—その歴史の概念について—	
超越論的演繹の生成……………	森口 美都男
—一七七〇年代のカント—	
ルカッチ「若いヘーゲル」(橋本隆彦)	

# 會 告

一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい  
 「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい

一、會員の轉居入退會等(編集事務以外は一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學  
 文學部内 京都哲學會

## 註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十七年七月五日印刷  
 昭和二十七年七月十日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會  
 京 都 大 學 文 學 部 内

右代表者

三 村 勉

發 行 人 酒 井 明

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 縣 西 ノ 四

印 刷 人 伊 藤 久 春

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 會 社 弘 文 堂

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 縣 西 ノ 四

定 價		冊 數		定 價		郵 稅	
一 冊	七 十 圓	六 冊 (前 金)	四 百 二 十 圓	三 冊 (前 金)	八 百 四 十 圓	一 冊	金 八 圓
						六 冊 (前 金)	金 四 十 八 圓
						三 冊 (前 金)	金 九 十 六 圓

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XXXV

July, 1952

No. 11

---

---

*Possession and Habit* (II).....Tokuryu Yamauchi

*Franz Boas and his Concept  
of History* (I).....Yoshimochi Hori

*Remaining Problems of Space  
in Kant's Philosophy* .....Shigeru Aoki

Published Monthly

By

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan